

新型コロナウイルス集団感染について

2022年 11月 光の里 臨時号



光の里

～臨時号～

日頃より、当法人にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
この度、9月17日 るべしべ光星苑において、1名の利用者様の感染を確認し、その後、9月28日まで、利用者7名、職員7名の集団感染発生に至りました。

感染した利用者様については、るべしべ光星苑の作業棟を隔離スペースとして対応させていただき、病状については、皆さん、軽症という状況で、現在は、以前と同様の生活をされています。

施設として、この度の集団感染について、今後振り返りを行い、感染が広がるまでの対応に問題がなかったのか、もっと最小限に留められなかったのかなど、整理を行っている状況です。

ご家族の皆様には、多大なるご心配、ご迷惑をおかけしたことににつきまして、お詫びを申し上げます。

また、寒い季節となり、新型コロナウイルス及びインフルエンザの感染の広がりについて、今後、視差されておりますが、更なる感染防止対策に最大限努力して利用者様の安全確保を最優先に最善を尽くしていきたいと考えております。

令和2年より、新型コロナウイルス感染拡大により、利用者様が日常生活の中での外出、旅行、他施設との交流、買い物外出等がすべて行えない状況が続いております。

「いつになったら元の生活に」「旅行はいついけるの」「買い物へいきたいな」「コンサートはいついける」などの利用者様の間に対して、「もう少しまってね」という漠然とした回答をしている自分に対して「本当にこのまま続くのでは」という強い不安を感じておりますが、コロナのワクチンも4回目が終了し、重症化リスクも軽減されているものの、疾患によってはなどとまた不安になるというのも事実です。

障がいのある方にとってこのコロナ感染症対策に翻弄される毎日は、運動不足、精神的不安定、マスクをつけることによる口の動き、表情を職員はキャッチしにくい状況も想定され、支援者は、正しい情報を持ち、一貫した支援、対応を心がけ努力していきたいと思っております。

感染について、手を洗う、消毒をする、マスクをする、については、すべて自分のため、さらに周りの人のため、今回の集団感染で強く感じたのは、自分の自己責任においてできることは行うことにより、感染を防ぐことに繋がるということだと強く感じました。 私たちが生きていくにあたり、想定外、予測のつかないことが起こりうるということを心しながら、今回の集団感染について、身を処していかなければと痛感いたしました。

るべしべ光星苑
施設長 金野 小百合

生活介護事業所 さつき新築工事について

現在、当法人のグループホームを利用されている利用者の方が日中過ごす場所として、旧通勤寮の「さつき」「せいわ」の建物を利用されております。

さつきは、昭和50年、せいわは、昭和52年建設で両建物は、建築基準法改正以前の建物で、耐震基準を満たしていない状況で、すが漏り、床が腐食による床落ち、水回りの配管の腐食などがありながらも、日中活動の場の確保が必要なことから、使用をしておりましたが、老朽化、狭隘化が著しくあり、必要な活動も制限される状況が続いておりました。

そのため、日中活動を行う建物の整備が急務となり、法人として、福祉施設整備補助金の申請を行い、この度、北海道より採択され、るべしべ光星苑に隣接した土地を購入し建設することとなりました。

建物完成については、令和5年2月末を予定しております。

この建物及びサービス内容については、せいわ、さつきの2つの生活介護事業所をひとつにし、40名定員とし、障がい特性により、対応できるよう特殊浴設置、重度高齢化対応できる状況の広さを確保している建物となっております。

また、社会福祉法人 北陽会としても、この建物の整備を期に、るべしべ光星苑の隣接した場所に事業所を整備することにより、建物の共有、地域の方々と交流、職員の雇用形態の考え方など北陽会の活動拠点として、福祉サービスの充実及び健全な経営基盤の確立を職員一丸となり、目指していきたいと考えておりますので、皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





お楽しみ昼食会での様子になります



「ロダン」
留辺藪町内のお食事処にてお弁当を頂きました！

ボリューム満点で大満足ヽ(^o^)ノ

皆さん元気に過ごしています！

令和3年度 北陽会 本部及び施設会計決算

令和4年度社会福祉法人北陽会評議員会(第1回)が、去る令和4年6月24日開催され、北陽会及び各施設会計の事業報告及び収支決算が承認されました。関係会計分の決算状況は下記のとおりとなっております。

貸借対照表

社会福祉法人 北陽会 令和4年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	512,926,340	流動負債	90,589,321
固定資産	1,523,036,316	固定負債	168,004,935
		負債の部合計	258,594,256
		純資産の部	
		基本金	332,056,700
		国庫補助金等特別積立金	571,105,992
		その他の積立金	548,657,828
		次期繰越活動増減差額	325,547,880
		純資産の部合計	1,777,368,400
資産合計	2,035,962,656	負債及び純資産合計	2,035,962,656

るべしべ光星苑拠点区分 貸借対照表

令和4年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	76,263,347	流動負債	26,264,118
固定資産	586,665,655	固定負債	35,889,745
		負債の部合計	62,153,863
		純資産の部	
		基本金	183,411,700
		国庫補助金等特別積立金	334,369,441
		その他の積立金	67,614,295
		次期繰越活動増減差額	25,379,703
		純資産の部合計	600,775,139
資産合計	662,929,002	負債及び純資産合計	662,929,002

事業活動計算書

社会福祉法人 北陽会 自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 (単位:円)

収 益		費 用	
サービス活動収益	1,074,743,300	サービス活動費用	1,071,886,535
サービス活動外収益	3,770,597	サービス活動外費用	766,316
特別収益	117,512,000	特別費用	117,512,003
		当期活動増減差額	5,861,043
合 計	1,196,025,897	合 計	1,196,025,897

るべしべ光星苑 事業活動計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 (単位:円)

収 益		費 用	
サービス活動収益	264,401,793	サービス活動費用	243,445,833
サービス活動外収益	1,550,017	サービス活動外費用	242,373
特別収益	8,930,000	特別費用	8,930,001
		当期活動増減差額	22,263,603
合 計	274,881,810	合 計	274,881,810

資金収支計算書

社会福祉法人 北陽会 自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 (単位:円)

収 入		支 出	
事業活動収入	1,078,513,897	事業活動支出	1,049,843,744
施設整備等収入	117,512,000	施設整備等支出	23,381,702
その他の活動収入	8,797,387	その他の活動支出	27,414,190
		当期資金収支差額	104,183,648
合 計	1,204,823,284	合 計	1,204,823,284

るべしべ光星苑 資金収支計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 (単位:円)

収 入		支 出	
事業活動収入	265,951,810	事業活動支出	243,181,401
施設整備等収入	8,930,000	施設整備等支出	13,547,322
その他の活動収入	2,391,244	その他の活動支出	13,316,070
		当期資金収支差額	7,228,261
合 計	277,273,054	合 計	277,273,054

お知らせコーナー

◎利用者紹介

・光星苑に新しい仲間が増えました。

○岡野 耕司さん

短期入所を利用していましたがこの度令和4年9月1日から入所となりました。
これからよろしくお願いします！



◎退所

○佐藤 法久さん

令和4年8月31日付けでるべしべ光星苑を退所となり、この度るべしべ希楽苑へ入所となりました。るべしべ希楽苑でも元気にお過ごしください。



◎職員紹介

・新しく光星苑と一緒に働く職員を紹介します。

【他事業所より異動】



○佐藤 友貴(生活支援員)

今年9月より、るべしべ希楽苑から異動になりました佐藤友貴です。
わからない事だらけで皆様に迷惑をおかけしていますが、少しでも早く力になれるよう頑張ります。皆様よろしくお願い致します。



◎退職

・桜井 智深 生活支援員 令和4年10月31日付け



☆編集を終えて☆

テレビのニュースなどで毎日のように聞いていた集団感染。実際に目の当たりにして、今までに無い様々な感情が入り混じる日々でした。感染がどれだけ広がるか、自分は感染しないだろうか、いつになったら終わるのか…。利用者さん、職員全員が感じていたと思います。

しかし、こういった状況だったからこそ、全員で協力し、励まし合い、団結し、この先の見えない日々を乗り越えられたのだと思います。今回の集団感染を経験し、より一層普段の支援に気を引き締めていきたいと感じました。

(K記)